
第二蒲田保育園

令和6（2024）年度

福祉サービス第三者評価結果報告書

| | |
|---|--|
| 1 | <p>理念・方針（関連 カテゴリー1 リーダーシップと意思決定）</p> <p>事業者が大切にしている考え（事業者の理念・ビジョン・使命など）のうち、特に重要なもの（上位5つ程度）を簡潔に記述 （関連 カテゴリー1 リーダーシップと意思決定）</p> <ol style="list-style-type: none">1)保育を必要とする乳幼児を保育する2)保護者の協力のもとに家庭保育を補充する3)児童の健全な心身の発達を図る4)教育と養護が一体となって豊かな人間性を持った子どもを育成する5)子育て支援を行う |
| 2 | <p>期待する職員像（関連 カテゴリー5 職員と組織の能力向上）</p> <p>(1)職員に求めている人材像や役割</p> <p>職務分担を明確にし、保育環境の改善に努め、研修へ積極的に参加し、各自能力の向上を図る。リーダー層は、職員間の連携をしやすい環境づくりに努め、各々の専門知識を高め、後輩の育成指導にあたる。</p> <p>(2)職員に期待すること(職員に持って欲しい使命感)</p> <p>乳幼児の子育ての重要性を自覚し、家庭保育の補完をする。 子どもたちの成長に影響を与えることを自覚し、愛情をもって接する。 子どもたちの命を預かる仕事だということを自覚し、常に初心を忘れず仕事に携わる。 保護者支援も心がけ、保護者の要望や意見、相談に耳を傾け、柔軟に対応する。</p> |

| No. | 特に良いと思う点 | |
|-----|--------------|--|
| 1 | タイトル | 「健康な体づくり」を目指し、子どもたちの健康増進と体力向上に向け、積極的な外遊びと体育指導を提供しています |
| | 内容 | 園では健康な心と体づくりを大切にし、今年度は特に外遊びを多く取り入れながら、運動能力や体力の向上を目指す体づくりを重視しています。日常保育では全クラスが積極的に散歩を取り入れています。気候の良い時期には、自分たちで作ったブーメランを飛ばしに、4、5歳児は距離のある土手まで片道40分以上かけて歩いて出かけています。園庭遊びも毎日のように行い、夕方も歓声を上げて楽しんでいます。また、外部講師による3～5歳児に向けた月2回の体育指導も、定着した活動として子どもたちは楽しく参加し、運動機能をさらに高めています。 |
| 2 | タイトル | 外部講師による保育活動を提供するとともに、園内の造りを利点とした異年齢の子どもたちの活動も、より一層広がりを見せています |
| | 内容 | 外部講師による体育指導は3～5歳児に、習字と絵画は5歳児に向け、いずれも月2回ずつ指導しています。特に習字は緊張感を持って取り組み、大筆の持ち方や姿勢に気をつけ、手本を見て書くことを学びます。作って遊ぶ工作の日もあり、講師の指導のもと、3～5歳児が一緒に取り組み、今年度は遊園地をテーマにさまざまな作品を作っています。3～5歳児の保育室はオープンスペースの広々とした空間であり、こうした園舎内の造りを利点とし、朝夕などは開放感ある部屋と園庭で、子どもたちの関わり合う様子と思い思いの遊びを楽しむ姿が見られます。 |
| 3 | タイトル | 幅広い年齢層によるバランス良い職員構成と、保育実践などが学びやすい環境の中で、より良い職場づくりに取り組んでいます |
| | 内容 | 昭和30年に開園した当園は伝統ある歴史を持ち、20年以上在職する職員が多くいるとともに若手職員の入職もあり、幅広い年齢構成となっています。経験の浅い職員は経験豊富な職員との組み合わせにより、過去の経験を生かした行事運営など、直接保育を学ぶことができます。また、主任が中心となって、職員の効率的な配置を考えたり、職員個々の状況に合わせて休暇の取得などを勧めたり、職員の相談にも応じるなどしています。これらの効果により職員の定着率が高く、働きやすい職場づくりと安定した園運営に取り組む、保育の質向上を目指しています。 |
| No. | さらなる改善が望まれる点 | |
| 1 | タイトル | 中長期計画における年度ごとの整備計画、及び予算配分の明示と、これらを踏まえた園の単年度計画の作成が望まれます |
| | 内容 | 中長期計画は法人で策定し、経営組織、財務管理などの項目があり、それぞれ細かく丁寧に作成しています。ただ、期間を5か年計画と示しているものの、どの年度に何を取り組むかは示されていない状況です。当園に特化した計画箇所についても、園庭の整備や園舎の設備整備など、どの年度に何を実施するかが示されていません。目標にとどまらず、年度ごとに何を購入し、どこを整備するかの実施計画を立て、それに対する予算配分も示せると良いでしょう。中長期計画の当園の記載箇所の具体化と、それを踏まえた単年度の事業計画となるよう期待します。 |
| 2 | タイトル | 子育て支援事業の充実を図り、地域へのさらなる貢献と情報発信を積み重ね、より地元根付く園となることを期待します |
| | 内容 | 園長は地域の行事や各種会合に自ら積極的に参加するなどして、地域との交流や関係機関とのネットワークの構築に努めています。しかしながら、子育て世代との交流には課題があることを認識しています。園庭開放や育児相談、保育所体験を受け付けホームページに掲載していますが、これまでの参加実績などから、子育て支援活動に関しては発信が十分であるとは言えない状況です。今後は発信方法の工夫や活動内容のあり方を見直すなど、職員の意見を聞きながら園の専門性を地域に還元できる、さらなる事業を検討し、地域貢献が広がることを期待します。 |
| 3 | タイトル | 職員の将来展望がより明確となるよう、キャリアパスと個人別育成計画を作成するなど、体系的な育成の仕組みづくりが望まれます |
| | 内容 | 職員の育成については、経験豊富な職員と同じクラスを組むことなどで、若手職員のスキルアップにつなげています。園長との面談の際にも、経験年数ごとに作成した自己評価表を基に現状の課題や今後の抱負などをヒアリングしています。今後は、職層ごとにその職責や求められる人材像、そのために必要な経験や研修内容を示す園のキャリアパスを策定することが望まれます。また、それに沿う個々の目標、園の期待などを踏まえた個人別の育成計画も作成すると良いでしょう。体系的な育成の仕組みを構築することで職員の将来展望がより明確となるでしょう。 |

| 事業者が特に力を入れている取り組み① | | |
|--------------------|---|--|
| 評価項目 | 6-6-2 | サービスの向上をめざして、事業所の標準的な業務水準を見直す取り組みをしている |
| タイトル① | 保育のあり方や内容を多角的に見直し、より良い保育活動の提供に努めています | |
| 内容① | 職員間で話し合いを重ね、さまざまな見直しを行うことで保育の質向上につなげています。例えば「お店屋さんごっこ」では、開催時期と内容の縮小化を検討し、子どもたちは余裕を持って当日に臨み、例年と同じく十分に楽しむことができました。品物作りを行いながらも園庭遊びができるなど、こうした無理のない行事の提供は、子どもの負担軽減のみならず職員の業務改善にもつながっています。このほか、他園での見学から講師に働きかけ、工作遊びの導入に至ったこと、「きりん会議」などを設け、子どもたちの話し合う機会を広げたことなども一例です。 | |

| 事業者が特に力を入れている取り組み② | | |
|--------------------|--|--------------------------|
| 評価項目 | 5-1-4 | 職員の定着に向け、職員の意欲向上に取り組んでいる |
| タイトル② | 働きやすい職場と職員間の良好な関係性などが、離職率の低下につながっています | |
| 内容② | 比較的、経験豊富な職員が多く、勤続年数の長い職員も多く在籍しています。これによりバランスの取れた職員構成であるとともに、出産や育児、仕事との両立を経験し、ワークライフバランスをも視野に入れた働きやすい職場であることがうかがえます。昨年度就任した園長と経験豊かな主任を中心に、園の歴史と踏襲を大切にしながら、新たな園運営や保育のあり方、業務の改善などを模索し、より良い園づくりを目指し取り組んでいます。今回の職員自己評価でも、職員間の仲の良さや相談のしやすさなど、良好な関係性を挙げる意見が多数聞かれています。 | |

| 事業者が特に力を入れている取り組み③ | | |
|--------------------|--|-------------------------------|
| 評価項目 | 6-4-4 | 日常の保育に変化と潤いを持たせるよう、行事等を実施している |
| タイトル③ | 日ごろの保育の延長として、子どもたちと楽しく作り上げる行事を大切にしています | |
| 内容③ | 子どもたちと共に作り上げ、みんなが楽しめる行事を大切にしています。「お化け屋敷」では5歳児がきりん会議で話し合ったお化けの種類や配置、役割に沿ってお化け作りなどの準備を進めています。当日は5歳児がお化けに扮し、ペアとなった3歳児を守りながら歩いて進む4歳児の微笑ましい様子も見られています。また、系列園合同で開催していた運動会は、コロナ禍以降、各園での開催へと変更しています。交流を兼ねた大規模な運動会を継続してきた歴史の中で、余裕を持って取り組める小規模な運動会の良さも改めて感じ、今後も継続する意向です。 | |

I 組織マネジメント項目(カテゴリー1～5、7)

| | | |
|---|--|------------------------------|
| No. | 共通評価項目 | |
| | カテゴリー1 | |
| 1 | リーダーシップと意思決定 | |
| | サブカテゴリー1(1-1) | |
| | 事業所が目指していることの実現に向けて一丸となっている | サブカテゴリー毎の標準項目実施状況 7/7 |
| 評価項目1 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)を周知している | | 評点(〇〇) |
| 評価 | 標準項目 | |
| ●あり ○なし | 1. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)について、職員の理解が深まるような取り組みを行っている | ○非該当 |
| ●あり ○なし | 2. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)について、利用者本人や家族等の理解が深まるような取り組みを行っている | ○非該当 |
| 評価項目2 経営層(運営管理者含む)は自らの役割と責任を職員に対して表明し、事業所をリードしている | | 評点(〇〇) |
| 評価 | 標準項目 | |
| ●あり ○なし | 1. 経営層は、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けて、自らの役割と責任を職員に伝えている | ○非該当 |
| ●あり ○なし | 2. 経営層は、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けて、自らの役割と責任に基づいて職員が取り組むべき方向性を提示し、リーダーシップを発揮している | ○非該当 |
| 評価項目3 重要な案件について、経営層(運営管理者含む)は実情を踏まえて意思決定し、その内容を関係者に周知している | | 評点(〇〇〇) |
| 評価 | 標準項目 | |
| ●あり ○なし | 1. 重要な案件の検討や決定の手順があらかじめ決まっている | ○非該当 |
| ●あり ○なし | 2. 重要な意思決定に関し、その内容と決定経緯について職員に周知している | ○非該当 |
| ●あり ○なし | 3. 利用者等に対し、重要な案件に関する決定事項について、必要に応じてその内容と決定経緯を伝えている | ○非該当 |
| カテゴリー1の講評 | | |
| <p>見えやすいところに園の理念や運営方針を掲示して、保護者や職員の理解を深めています</p> <p>保育理念や保育目標は職員がいつでも確認できるように、各保育室に掲示し、保護者が立ち寄るホールにも掲示しています。入職時には職員に対して説明をし、マニュアル等にも法人の理念が書かれています。園のしおりには運営方針や保育理念、基本方針、保育目標を掲載し、保育目標は園便りにも毎月記載しています。また、開園してからの年月が長く、経験豊富な職員から入職したての職員もいることで、目指す理念などの理解度について、差が生じていることを園長も感じています。今後も経験の浅い職員を中心に、理解度が深まるよう取り組む考えです。</p> <p>園が目指している理念の実現に向けて、経営層自らの責任と役割を伝えています</p> <p>園が目指していることの実現に向けて、園長自らの役割と責任を職員に伝えています。業務分担表を1階事務室に掲示して、職員自身の業務内容を確認してもらうとともに、園長や主任が担う役割を明確に職員に示しています。昨年度、新しく園長が就任した際に、園としての目標を掲げたいとして「健康な心と体」を重視することを職員に周知し、その目標に向かって職員が一丸となって取り組み、園外活動や園庭での活動を増やしています。また、職員の業務軽減についても園長がリーダーシップを取って取り組み、その成果が少しずつ上がっています。</p> <p>重要な案件については、法人の理事会で決定され、会議で全職員に伝えています</p> <p>重要な案件については、法人の理事会で検討されてから決定し、そこで決められた重要事項については職員会議で周知しています。また、必要な事柄は1階の事務室に設置されたホワイトボードに掲示し、参加できなかった職員など全職員への周知に取り組んでいます。園内での重要な決定事項については、主任、副主任、各リーダーなどで内容を確認し、職員会議で伝えています。伝達後も職員にはその内容について個別に聞き、理解度や意見等を確認するようにしています。保護者へはアプリや掲示物、配付物などで周知し、必要に応じて個別に伝えています。</p> | | |

| | | |
|---|---|---------------------------------|
| カテゴリ-2 | | |
| 2 事業所を取り巻く環境の把握・活用及び計画の策定と実行 | | |
| サブカテゴリ-1(2-1) | | |
| 事業所を取り巻く環境について情報を把握・検討し、課題を抽出している | | サブカテゴリ毎の 標準項目実施状況 6/6 |
| 評価項目1 事業所を取り巻く環境について情報を把握・検討し、課題を抽出している | | 評点(○○○○○○) |
| 評価 | 標準項目 | |
| ●あり ○なし | 1. 利用者アンケートなど、事業所側からの働きかけにより利用者の意向について情報を収集し、ニーズを把握している | ○非該当 |
| ●あり ○なし | 2. 事業所運営に対する職員の意向を把握・検討している | ○非該当 |
| ●あり ○なし | 3. 地域の福祉の現状について情報を収集し、ニーズを把握している | ○非該当 |
| ●あり ○なし | 4. 福祉事業全体の動向(行政や業界などの動き)について情報を収集し、課題やニーズを把握している | ○非該当 |
| ●あり ○なし | 5. 事業所の経営状況を把握・検討している | ○非該当 |
| ●あり ○なし | 6. 把握したニーズ等や検討内容を踏まえ、事業所として対応すべき課題を抽出している | ○非該当 |
| サブカテゴリ-2(2-2) | | |
| 実践的な計画策定に取り組んでいる | | サブカテゴリ毎の 標準項目実施状況 4/5 |
| 評価項目1 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けた中・長期計画及び単年度計画を策定している | | 評点(○○●) |
| 評価 | 標準項目 | |
| ●あり ○なし | 1. 課題をふまえ、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けた中・長期計画を策定している | ○非該当 |
| ○あり ●なし | 2. 中・長期計画をふまえた単年度計画を策定している | ○非該当 |
| ●あり ○なし | 3. 策定している計画に合わせた予算編成を行っている | ○非該当 |
| 評価項目2 着実な計画の実行に取り組んでいる | | 評点(○○) |
| 評価 | 標準項目 | |
| ●あり ○なし | 1. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けた、計画の推進方法(体制、職員の役割や活動内容など)、目指す目標、達成度合いを測る指標を明示している | ○非該当 |
| ●あり ○なし | 2. 計画推進にあたり、進捗状況を確認し(半期・月単位など)、必要に応じて見直しをしながら取り組んでいる | ○非該当 |
| カテゴリ-2の講評 | | |
| <p>行事のあとのアンケートや職員からの意見を参考にして、業務の改善に努めています</p> <p>保護者の意向については、情報を収集してニーズを把握するために、保護者が参加する行事後には毎回アンケートを行っています。その後アンケート結果を参考にしながら、職員会議内で行事の反省を行い、次年度への改善につなげています。そのほかアプリなどでも意向を収集しています。また、職員会議で出た意見のうち、園の運営に関するものについては、系列園園長会や理事会等において検討し、必要なものについては変更や改善を行っています。以前は系列園と合同で行っていた運動会については、職員の意見を参考にし、現在は園ごとに開催しています。</p> <p>地域の私立保育園の会合や法人の理事会などで、地域及び財務状況を把握しています</p> <p>地域の福祉の現状についての情報を収集し、ニーズを把握するために、区内の私立保育園の会合などに参加して、地域の福祉関連の情報を得ています。その情報は職員にも伝えていきます。例えば、地域で流行している感染症の情報も得られ、園内で事前に対策することで流行を最小限に抑えることができます。また、園の経営状況については、税理士も参加する理事会に出席した際に、園の財務状況を把握するなどしています。そのようにして得た情報を総合的に判断して、現在対応すべき課題を抽出し、全職員でその課題について話し合いを行っています。</p> <p>年度ごとに示された園の中長期計画と、それに連動する単年度計画の作成が期待されます</p> <p>中長期計画は法人全体の計画として策定しています。法人の経営基盤の安定や財務管理、人事管理などの内容を記載し、中長期的な視点から今後の方針を示しています。5年間の見通しで計画を立てていますが、当園の計画が5年後の目標のみにとどまり、各年度ごとの実施計画が示されていない状況から、中長期計画と園の単年度の事業計画との連動がわかりにくくなっています。今後は園の中長期計画を策定し、年度ごとの方針と、予算配分についてもおおよその見通しを記載すると良いでしょう。その上で、それを踏まえた単年度事業計画の作成を期待します。</p> | | |

| カテゴリ-3 | | |
|--|---|----------------------|
| 3 経営における社会的責任 | | |
| サブカテゴリ-1(3-1) | | |
| 社会人・福祉サービス事業者として守るべきことを明確にし、その達成に取り組んでいる | | サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 2/2 |
| 評価項目1 社会人・福祉サービスに従事する者として守るべき法・規範・倫理などを周知し、遵守されるよう取り組んでいる | | 評点(〇〇) |
| 評価 | 標準項目 | |
| ●あり ○なし | 1. 全職員に対して、社会人・福祉サービスに従事する者として守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳を含む)などを周知し、理解が深まるよう取り組んでいる | ○非該当 |
| ●あり ○なし | 2. 全職員に対して、守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳を含む)などが遵守されるように取り組み、定期的に確認している。 | ○非該当 |
| サブカテゴリ-2(3-2) | | |
| 利用者の権利擁護のために、組織的な取り組みを行っている | | サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 4/4 |
| 評価項目1 利用者の意向(意見・要望・苦情)を多様な方法で把握し、迅速に対応する体制を整えている | | 評点(〇〇) |
| 評価 | 標準項目 | |
| ●あり ○なし | 1. 苦情解決制度を利用できることや事業者以外の相談先を遠慮なく利用できることを、利用者に伝えている | ○非該当 |
| ●あり ○なし | 2. 利用者の意向(意見・要望・苦情)に対し、組織的に速やかに対応する仕組みがある | ○非該当 |
| 評価項目2 虐待に対し組織的な防止対策と対応をしている | | 評点(〇〇) |
| 評価 | 標準項目 | |
| ●あり ○なし | 1. 利用者の気持ちを傷つけるような職員の言動、虐待が行われることのないよう、職員が相互に日常の言動を振り返り、組織的に防止対策を徹底している | ○非該当 |
| ●あり ○なし | 2. 虐待を受けている疑いのある利用者の情報を得たときや、虐待の事実を把握した際には、組織として関係機関と連携しながら対応する体制を整えている | ○非該当 |
| サブカテゴリ-3(3-3) | | |
| 地域の福祉に役立つ取り組みを行っている | | サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 5/5 |
| 評価項目1 透明性を高め、地域との関係づくりに向けて取り組んでいる | | 評点(〇〇) |
| 評価 | 標準項目 | |
| ●あり ○なし | 1. 透明性を高めるために、事業所の活動内容を開示するなど開かれた組織となるよう取り組んでいる | ○非該当 |
| ●あり ○なし | 2. ボランティア、実習生及び見学・体験する小・中学生などの受け入れ体制を整備している | ○非該当 |
| 評価項目2 地域の福祉ニーズにもとづき、地域貢献の取り組みをしている | | 評点(〇〇〇) |
| 評価 | 標準項目 | |
| ●あり ○なし | 1. 地域の福祉ニーズにもとづき、事業所の機能や専門性をいかした地域貢献の取り組みをしている | ○非該当 |
| ●あり ○なし | 2. 事業所が地域の一員としての役割を果たすため、地域関係機関のネットワーク(事業者連絡会、施設長会など)に参画している | ○非該当 |
| ●あり ○なし | 3. 地域ネットワーク内での共通課題について、協働できる体制を整えて、取り組んでいる | ○非該当 |

カテゴリー3の講評

就業規則等に明示するなどして、守るべき法・規範・倫理を全職員に周知しています

社会人・福祉サービスに従事する者としての守るべき法・規範・倫理などは、職員に周知しています。就業規則の中のサービスの章には、園の職員として守るべき内容が記載されています。ここでは、サービスの基本、サービスの心得、信用保持、サービス規律など、14の項目を記載し、パソコンの使用や私的な情報発信など、昨今注意すべき項目についても詳しく書かれ、職員にも理解されやすい内容です。マニュアル「保育士としての心得」には保育業務などに特化した事項を記載しています。これらは入職時に職員に配付し、新入職員向けの研修で園長が説明しています。

苦情解決の仕組みや虐待防止の措置については、園のしおりで保護者に周知しています

保護者が苦情解決制度を利用できること、園以外の相談先があることなどは、園のしおりに明記して保護者に周知しています。最近では外国籍の保護者も多く、園便りなどは在籍する国籍の言葉に翻訳して伝えているものの、苦情解決の仕組みなど複雑な内容を伝える取組みがなく、今後の検討課題としています。また、園のしおりを通し、虐待防止のための措置として園は通報義務があることを保護者に知らせています。家庭での虐待のみならず、職員による不適切な対応についても同様であり、万一確認した際には外部専門機関と連携する仕組みを整えています。

ボランティアや実習生を積極的に受け入れ、体制を整備して地域に貢献しています

ボランティアや実習生の受け入れにあたっては、関連のマニュアルを作成し、受け入れの流れや注意点を記載しています。今年度は昨年度以上に、複数名の小・中・高校生の職場体験やボランティア、保育学生の実習生を受け入れ、社会的にも貢献しています。地域の子育て家庭に向けた支援活動では、育児相談や園庭開放を行っていますが、参加実績が少ない状況です。今後は周知方法の工夫はもとより、年に1回30分でも、地域の未就園児に向けたイベントを行うなど、できることから少しずつ広げ、より地域貢献に向けた今後の取組みが期待されます。

| カテゴリ-4 | | |
|---|--|---------------------------------|
| 4 リスクマネジメント | | |
| サブカテゴリ-1(4-1) | | |
| リスクマネジメントに計画的に取り組んでいる | | サブカテゴリ毎の 標準項目実施状況 5/5 |
| 評価項目1 事業所としてリスクマネジメントに取り組んでいる | | 評点(00000) |
| 評価 | 標準項目 | |
| ●あり ○なし | 1. 事業所が目指していることの実現を阻害する恐れのあるリスク(事故、感染症、侵入、災害、経営環境の変化など)を洗い出し、どのリスクに対策を講じるかについて優先順位をつけている | ○非該当 |
| ●あり ○なし | 2. 優先順位の高さに応じて、リスクに対し必要な対策をとっている | ○非該当 |
| ●あり ○なし | 3. 災害や深刻な事故等に遭遇した場合に備え、事業継続計画(BCP)を策定している | ○非該当 |
| ●あり ○なし | 4. リスクに対する必要な対策や事業継続計画について、職員、利用者、関係機関などに周知し、理解して対応できるように取り組んでいる | ○非該当 |
| ●あり ○なし | 5. 事故、感染症、侵入、災害などが発生したときは、要因及び対応を分析し、再発防止と対策の見直しに取り組んでいる | ○非該当 |
| サブカテゴリ-2(4-2) | | |
| 事業所の情報管理を適切に行い活用できるようにしている | | サブカテゴリ毎の 標準項目実施状況 4/4 |
| 評価項目1 事業所の情報管理を適切に行い活用できるようにしている | | 評点(0000) |
| 評価 | 標準項目 | |
| ●あり ○なし | 1. 情報の収集、利用、保管、廃棄について規程・ルールを定め、職員(実習生やボランティアを含む)が理解し遵守するための取り組みを行っている | ○非該当 |
| ●あり ○なし | 2. 収集した情報は、必要な人が必要なときに活用できるように整理・管理している | ○非該当 |
| ●あり ○なし | 3. 情報の重要性や機密性を踏まえ、アクセス権限を設定するほか、情報漏えい防止のための対策をとっている | ○非該当 |
| ●あり ○なし | 4. 事業所で扱っている個人情報については、「個人情報保護法」の趣旨を踏まえ、利用目的の明示及び開示請求への対応を含む規程・体制を整備している | ○非該当 |
| カテゴリ-4の講評 | | |
| <p>災害や安全に関するマニュアルをそろえ、園内で起こるいろいろなリスクに備えています</p> <p>災害をはじめ危機管理に関するマニュアルを整備し、リスクに備えています。マニュアルには安全管理、感染症予防、防犯、不審者・侵入者対応などがあり、各場面で考えられるリスクについて記載し対応策を講じています。マニュアルの中には、古くから使われ改定されていないものもあり、今後の見直しが望まれます。また、業務継続計画(BCP)も含めマニュアルが職員に伝わるよう、配付あるいは研修を行うなどの取り組みにも期待します。なお、BCPは具体的な担当職員を明示するなど、より一層職員の理解と園に見合う内容への変更が望まれます。</p> <p>事故報告の集計やヒヤリハット報告を提出することで、再発防止に取り組んでいます</p> <p>園では「ヒヤリハット・けが報告書」を整備し、事故及び事故を未然に防いだ事例などの提出を職員に求めています。けが報告に関する取り組みでは、事故などの報告により、保育中に発生したけがの状況を月次集計表にまとめ、時期や時間帯別、発生場所別に起こりやすいけがの傾向を把握し、再発防止に取り組んでいます。ただ、けがの報告に比べ、ヒヤリハットの報告数が少なく、今後の改善が望まれます。けがとヒヤリハットの用紙を分け、ヒヤリハット報告を提出しやすくするなど、未然に防げた事例を上げる、より積極的な取り組みが期待されます。</p> <p>個人情報の保護にはセキュリティシステムの導入など、細心の注意を払い管理しています</p> <p>情報の収集や利用、管理のルールを定めた個人情報保護規程を定め、関連のマニュアルも作成しています。職員には入職の際に説明をして、誓約書の提出を求めています。保護者から、情報の開示請求があった場合には、園長、主任が同席して園内で閲覧してもらうようにしています。また、児童票など紙媒体の機密情報は鍵のかかる書庫に保管するほか、パソコンは漏えい防止のためアクセス権限を設定し、園長のみが見られる内容を指定するなど情報管理に努めています。最近ではセキュリティシステムを導入して、不正アクセスなどへの対策を講じています。</p> | | |

| カテゴリ-5 | | |
|--|--|---------------------------|
| 5 職員と組織の能力向上 | | |
| サブカテゴリ-1(5-1) | | |
| 事業所が目指している経営・サービスを実現する人材の確保・育成・定着に取り組んでいる | | サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 8/12 |
| 評価項目1 事業所が目指していることの実現に必要な人材構成にしている | | 評点(〇〇) |
| 評価 | 標準項目 | |
| <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | 1. 事業所が求める人材の確保ができるよう工夫している | <input type="radio"/> 非該当 |
| <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | 2. 事業所が求める人材、事業所の状況を踏まえ、育成や将来の人材構成を見据えた異動や配置に取り組んでいる | <input type="radio"/> 非該当 |
| 評価項目2 事業所の求める人材像に基づき人材育成計画を策定している | | 評点(●●) |
| 評価 | 標準項目 | |
| <input type="radio"/> あり <input checked="" type="radio"/> なし | 1. 事業所が求める職責または職務内容に応じた長期的な展望(キャリアパス)が職員に分かりやすく周知されている | <input type="radio"/> 非該当 |
| <input type="radio"/> あり <input checked="" type="radio"/> なし | 2. 事業所が求める職責または職務内容に応じた長期的な展望(キャリアパス)と連動した事業所の人材育成計画を策定している | <input type="radio"/> 非該当 |
| 評価項目3 事業所の求める人材像を踏まえた職員の育成に取り組んでいる | | 評点(〇〇●●) |
| 評価 | 標準項目 | |
| <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | 1. 勤務形態に関わらず、職員にさまざまな方法で研修等を実施している | <input type="radio"/> 非該当 |
| <input type="radio"/> あり <input checked="" type="radio"/> なし | 2. 職員一人ひとりの意向や経験等に基づき、個人別の育成(研修)計画を策定している | <input type="radio"/> 非該当 |
| <input type="radio"/> あり <input checked="" type="radio"/> なし | 3. 職員一人ひとりの育成の成果を確認し、個人別の育成(研修)計画へ反映している | <input type="radio"/> 非該当 |
| <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | 4. 指導を担当する職員に対して、自らの役割を理解してより良い指導ができるよう組織的に支援を行っている | <input type="radio"/> 非該当 |
| 評価項目4 職員の定着に向け、職員の意欲向上に取り組んでいる | | 評点(〇〇〇〇) |
| 評価 | 標準項目 | |
| <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | 1. 事業所の特性を踏まえ、職員の育成・評価と処遇(賃金・昇進・昇格等)・称賛などを連動させている | <input type="radio"/> 非該当 |
| <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | 2. 就業状況(勤務時間や休暇取得、職場環境・健康・ストレスなど)を把握し、安心して働き続けられる職場づくりに取り組んでいる | <input type="radio"/> 非該当 |
| <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | 3. 職員の意識を把握し、意欲と働きがいの向上に取り組んでいる | <input type="radio"/> 非該当 |
| <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | 4. 職員間の良好な人間関係構築のための取り組みを行っている | <input type="radio"/> 非該当 |
| サブカテゴリ-2(5-2) | | |
| 組織力の向上に取り組んでいる | | サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 3/3 |
| 評価項目1 組織力の向上に向け、組織としての学びとチームワークの促進に取り組んでいる | | 評点(〇〇〇) |
| 評価 | 標準項目 | |
| <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | 1. 職員一人ひとりが学んだ研修内容を、レポートや発表等を通じて共有化している | <input type="radio"/> 非該当 |
| <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | 2. 職員一人ひとりの日頃の気づきや工夫について、互いに話し合い、サービスの質の向上や業務改善に活かす仕組みを設けている | <input type="radio"/> 非該当 |
| <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | 3. 目標達成や課題解決に向けて、チームでの活動が効果的に進むよう取り組んでいる | <input type="radio"/> 非該当 |

カテゴリー5の講評

園が求める人材像を掲げ、実習生を中心とした採用活動に取り組んでいます

人材の確保については実習生の中で、その人柄や保育の姿勢について園が求める人材と合致した場合に、直接本人に対し声かけを行うようにしています。採用につながる働きかけを行うことで、実際にその成果を上げています。また、インターネットで求職活動をしている人向けには、求人段階で直接ダイレクトメールを送り、やり取りできるサービスを活用するなどして、積極的な採用活動に取り組んでいます。入職後はバランスの良い職員配置に努めていますが、さらに体系的な育成の仕組みを構築することで、より若手職員の意欲向上にもつながるでしょう。

職員は積極的に研修に参加し、現場でも直接的な指導や助言を行っています

さまざまな方法で研修の受講ができるよう、対象職員の経験年数や希望を考慮して、積極的に参加を促進しています。園内でも主任が中心となり、経験の浅い職員などに対し指導、助言ができるよう、2階ではなく常に1階に常駐し、主任業務を行うなどしています。また、話しかけやすい雰囲気づくりと、経験のある職員からの相談にも応じられるよう心がけています。今後は職員一人ひとりのキャリア形成をサポートする視点から、職員が主体的に受講したい研修などを書き込める個人別の育成計画を作成し、個々の能力向上に向けた仕組みづくりが望まれます。

職場環境やさらなるチーム力の向上を目指し、働きやすい園づくりに取り組んでいます

個々の就業状況を把握し、安心して働き続けられる職場づくりに取り組めるよう、超過勤務の防止や有給休暇の取得率向上に努めています。職員は自己評価を行い、目標やその取り組みの過程、成果を振り返り、園長と面談を行い、その後の業務の改善と、能力や意識の向上を図っています。また、年度末には食事会を開催して職員間の交流を図り、連携が円滑に進むよう配慮しています。そのほか経験の浅い職員などが、自身の考えや意見を職員会議で活発に発言できるよう、今後も工夫していく考えであるとともに、さらなるチーム力の向上を目指しています。

カテゴリー7

7 事業所の重要課題に対する組織的な活動

サブカテゴリー1(7-1)

事業所の重要課題に対して、目標設定・取り組み・結果の検証・次期の事業活動等への反映を行っている

評価項目1

事業所の理念・基本方針の実現を図る上での重要課題について、前年度具体的な目標を設定して取り組み、結果を検証して、今年度以降の改善につなげている(その1)

前年度の重要課題に対する組織的な活動(評価機関によるまとめ)

昨今の少子化に伴い、2歳児クラスの定員割れが目立つようになり、毎年度4月の段階で2歳児の入園児数が少ない状況が続いていました。定員変更とともに職員体制を含めた全体的な見直しが必要だと考え、2歳児の定員を16名から12名に減員し、変更に向けた取り組みを昨年度の目標設定に掲げました。そのためには、まず理事会の承認を得たのちに行政に相談し、担当者からは「他園も定員割れが目立つので」と減員を勧められ、定員変更を決定しました。当初、2歳児の定員変更は行うものの、全体の職員数は変更せず、1名の職員が他クラスをサポートする予定で考えていました。そして、3～5歳児クラスではなく、1、2歳児クラスを中心に保育に入るようにしました。その結果、子ども一人ひとりと向き合う時間が増え、より手厚い保育ができるようになり、余裕を持って子どもたちに対応できるようになりました。定員の変更後は、より2歳児クラスも落ち着き、担任1人が他クラスに手伝いに入ることで保育が充実し、家庭的な保育を提供でき、結果的に保護者の安心感にもつながったことを感じました。今後の方向性としては、3歳児の定員や5歳児の定員変更も視野に入れ、検討しているところです。

| | |
|-------------------|--|
| <p>目標の設定と取り組み</p> | <ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="radio"/> 具体的な目標を設定し、その達成に向けて取り組みを行った <input type="radio"/> 具体的な目標を設定したが、その達成に向けて取り組みが行われていなかった <input type="radio"/> 具体的な目標が設定されていなかった |
| <p>取り組みの検証</p> | <ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="radio"/> 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行った <input type="radio"/> 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行っていなかった(目標設定を行っていなかった場合も含む) <input type="radio"/> 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である |
| <p>検証結果の反映</p> | <ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="radio"/> 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させた <input type="radio"/> 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させていない <input type="radio"/> 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である |

評価項目1で確認した組織的な活動や評語の選択に関する講評

全国的な現象として挙げられている少子化と、保育園の定員割れ問題に対し、それをプラスの方向へ転じて検討したいという経営層の思いのもと、取り組んだ事案だったことがうかがえます。園児の定員変更はしたものの、それに伴う職員数を減らすなどの変更はせず、他クラスの手伝いに入りカバーし合うことで、より子どもたちを丁寧に見ることができました。職員の負担を減らすとともに、保育の質の向上も実現できる環境になりました。今後は、減員した2歳児クラスが進級した際の3歳児クラス、そして4歳児より2名多い5歳児クラスの定員変更も検討しており、このことをきっかけとして、園全体の定員を整理し、収支や運営体制の改善を伴った変更へとつなげていきたいと園長は考えています。実際の保育の場面では、1歳児と2歳児が同じ時間を過ごすこともあり、職員同士の協力がさらに深まり、今まで以上に連携が取れ、保育が充実してきていることも園長、主任は実感しています。体制が充実し、質の高い保育が実施されることで、家庭的な保育環境が提供でき、保護者も安心して預けることができます。少子化という困難から園の信頼へとつなげた成功事例として、今後も参考になるケースでしょう。

評価項目2

事業所の理念・基本方針の実現を図る上での重要課題について、前年度具体的な目標を設定して取り組み、結果を検証して、今年度以降の改善につなげている(その2)

前年度の重要課題に対する組織的な活動(評価機関によるまとめ)

職員の業務が過剰になっている背景から、業務の効率化、軽減化を昨年度のもう一つの目標設定として挙げました。業務の軽減化により、職員の日々の負担を減らし、保育に向き合う時間の確保や、子どもたちと一緒に何かを作り上げる保育を目指してほしいとの園長の思いもありました。そのためにクラスを持たないフリーの職員を1名増やし、その職員とクラス担任とで連携を図りながら、改めて保育書類や製作活動の見直しを図ることにしました。その際の職員の配置にあたっては、主任が中心となり、効率よく保育を提供できるよう、それぞれのクラスの職員に指示をしました。これらの取り組みの結果として、一部の行事については、実施時期の変更や内容を軽減するなど見直しことができました。製作も毎月必ず行うということをなくし、子どもたちの自由遊びの時間を増やす方向となり、職員の業務全体の軽減にもつながりました。今後の方向性として、軽減ができたことで散歩に出かける時間が増え、体育指導の内容を日常保育にも取り入れられるようになるなど、園長が考える「健康な心と体づくり」をテーマにした重点項目を目指せることにもつながりました。なお今年度も引き続き取り組んでいく考えです。

| | |
|-------------------|--|
| <p>目標の設定と取り組み</p> | <ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="radio"/> 具体的な目標を設定し、その達成に向けて取り組みを行った <input type="radio"/> 具体的な目標を設定したが、その達成に向けて取り組みが行われていなかった <input type="radio"/> 具体的な目標が設定されていない |
| <p>取り組みの検証</p> | <ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="radio"/> 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行った <input type="radio"/> 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行っていない(目標設定を行っていない場合も含む) <input type="radio"/> 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である |
| <p>検証結果の反映</p> | <ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="radio"/> 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させた <input type="radio"/> 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させていない <input type="radio"/> 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である |

評価項目2で確認した組織的な活動や評語の選択に関する講評

昨今の目まぐるしく変化する保育環境の中で、職員の業務軽減というテーマを掲げ、園全体で取り組みました。取り組みの結果として、クラスを持たない職員を増やし、クラスの補助に入ること、担任が時間内に書類業務や作り物などができることを確認しましたが、まだまだ改革途上との思いもあります。行事の負担軽減を目指すという方向性を示したものの、長く続けている職員にとっては、昔からある行事は続けていきたい、それを行うことで子どもたちに楽しんでもらいたいという思いもあり、大胆な改革案にはやや消極的な面もありました。職員間で話し合いを重ね、発言することが難しい経験の浅い若手職員などにも個別に意見を求めるなど、各職員の意見を聞き、ある程度の改革ができたことは成果です。勤務終了後に作業をするということも少なくなってきました。また、経験年数の長いベテラン職員の気持ちを受け止め、子どもたちの思いや経験を大切にしながら、より質の高い保育を提供できるよう、今後は異年齢の保育や合同保育をうまく取り入れ工夫していく考えです。こうしてさらに有効な時間を作り、今以上の効率化を成し遂げることで、さらなる働きやすい職場づくりを目指すことにしています。

Ⅱ サービス提供のプロセス項目(カテゴリ6-1～3、6-5～6)

| No. | 共通評価項目 | |
|--|-----------|---|
| サブカテゴリ1 | | |
| 1 | サービス情報の提供 | サブカテゴリ毎の 標準項目実施状況 4/4 |
| 評価項目1 利用希望者等に対してサービスの情報を提供している <p style="text-align: right;">評点(〇〇〇〇)</p> | | |
| | 評価 | 標準項目 |
| | ●あり ○なし | 1. 利用希望者等が入手できる媒体で、事業所の情報を提供している |
| | ○非該当 | |
| | ●あり ○なし | 2. 利用希望者等の特性を考慮し、提供する情報の表記や内容をわかりやすいものになっている |
| | ○非該当 | |
| | ●あり ○なし | 3. 事業所の情報を、行政や関係機関等に提供している |
| | ○非該当 | |
| | ●あり ○なし | 4. 利用希望者等の問い合わせや見学の要望があった場合には、個別の状況に応じて対応している |
| | ○非該当 | |
| サブカテゴリ1の講評 | | |
| <p>ホームページのブログは毎日更新し、保育活動の様子を具体的に紹介しています</p> <p>園の情報は数年前に立ち上げたホームページで紹介しています。日々の保育の様子は、個人が特定されないよう子どもの写真を加工して掲載し、コメントを添えて伝えています。だれでも閲覧できるこれらのブログのほか、保護者専用のページには、この活動の、より詳細な写真を載せています。また、毎日の給食の写真も更新するほか、保育の特色の一つである体操や習字、絵画のねらいなども紹介しています。入園が決定した保護者に配付する園のしおりには、保育目標をはじめ園生活に必要な決まり事など、保護者が知りたい情報をわかりやすく示しています。</p> <p>コンパクトに作成した「見学のしおり」や案内用の看板には保育目標などを示しています</p> <p>区のサイトからは園の概要や最新の空き状況が入手できます。園の保育目標や特色なども知ることができ、そこから法人のホームページを閲覧することも可能です。園が実施する地域の子育て家庭に向けた活動、園庭開放や体験保育の内容は園のホームページで紹介するほか、園の外壁にも掲示しています。また、「見学のしおり」も作成し、主な行事や一日の流れ、保育内容の紹介、散歩マップなどを記載しています。通りには園の場所を示す案内用の看板があり、園名はもとより保育時間や保育目標「たくましくやりぬく子ども」なども大きく紹介しています。</p> <p>見学者が希望する日を優先して日程調整を行い、見学の日も丁寧な対応に努めています</p> <p>園見学については、見学者の個別の状況に応じて対応しています。6月ごろから受け入れ、夏場は見合わせるものの秋ごろをピークとし、11月ごろまで問い合わせは続きます。保護者の都合を聞き、調整した上で見学日を決定しています。当日は平日の10時ごろから2組ほどを受け入れ、主に主任が園内を案内するとともに「見学のしおり」に沿って説明しています。場合によっては、保護者の希望で夕方の時間帯にも応じることがあります。今年度も1歳児を中心に多くの見学者が来園し、見学の際には質問なども受け付け、丁寧な対応を心がけています。</p> | | |

| サブカテゴリー2 | | |
|--|--|-----------------------|
| 2 | サービスの開始・終了時の対応 | サブカテゴリー毎の標準項目実施状況 6/6 |
| 評価項目1 サービスの開始にあたり保護者に説明し、同意を得ている | | 評点(〇〇〇) |
| 評価 | 標準項目 | |
| ●あり ○なし | 1. サービスの開始にあたり、基本的ルール、重要事項等を保護者の状況に応じて説明している | ○非該当 |
| ●あり ○なし | 2. サービス内容について、保護者の同意を得るようにしている | ○非該当 |
| ●あり ○なし | 3. サービスに関する説明の際に、保護者の意向を確認し、記録化している | ○非該当 |
| 評価項目2 サービスの開始及び終了の際に、環境変化に対応できるよう支援を行っている | | 評点(〇〇〇) |
| 評価 | 標準項目 | |
| ●あり ○なし | 1. サービス開始時に、子どもの保育に必要な個別事情や要望を決められた書式に記録し、把握している | ○非該当 |
| ●あり ○なし | 2. 利用開始直後には、子どもの不安やストレスが軽減されるように配慮している | ○非該当 |
| ●あり ○なし | 3. サービスの終了時には、子どもや保護者の不安を軽減し、支援の継続性に配慮した支援を行っている | ○非該当 |
| サブカテゴリー2の講評 | | |
| <p>入園前にはオリエンテーションを開催し、園の基本事項などを保護者に伝えています</p> <p>入園前のオリエンテーションは今年度も2月の土曜日に開催し、来年度に入園する保護者を対象に説明を行う予定です。コロナ禍以降、説明の方法を変え、重要事項説明書である園のしおりは事前に確認してもらい、当日は質疑応答の時間を重点的に設け、丁寧な対応を心がけています。その後、年齢別に分かれて持ち物などの説明を職員が行います。また、別日には個別面談と健康診断を実施し、平日の午睡時に各職員が面談者となり、これまでの子どもの状況などを保護者に聞き取ります。面談者は「面接時の質問票」を活用し、漏れのないよう確認しています。</p> <p>入園後は無理なく園生活に慣れるよう、子どもと保護者の不安軽減に努めています</p> <p>入園前の面談で得た情報は職員間で共有し、保護者が提出する書類などに基づき園生活を開始します。入園直後には無理なく園に慣れていけるよう、通常の保育時間まで2週間ほどの期間を設け、徐々に保育時間を延ばしていきます。事前に知らせておくことで、復職のタイミングなどを計画して臨む保護者の様子も見られます。保護者の勤務状況や子どもの様子などを見ながら個別の状況に対応し、家庭と園での様子を伝え合えるよう、保護者と密に連絡を取り合い進めています。新たな生活が始まる保護者に対しても、不安感が軽減できるよう配慮しています。</p> <p>入学や卒業などの節目に来園する卒園児も見られ、卒園後のつながりを大切にしています</p> <p>転居等で退園する場合には、温かく送り出せるよう努めています。必要に応じて、転園先から依頼があれば、子どもの様子を伝え協力し合える体制を作り、継続した支援ができるよう努めています。また、当園は歴史のある保育園です。卒園児が入学式の日にはランドセルを見せに来ることはもちろん、小学校の卒業式や中学、高校の入学式など、節目には制服を見せに遊びに来る卒園児なども見られ、社会人になってもつながりがあります。今後は、卒園した小学一年生などに向けた夏休みのイベント開催の検討、あるいは行事などにも招待できると良いでしょう。</p> | | |

サブカテゴリ-3

3 個別状況の記録と計画策定

サブカテゴリ毎の
標準項目実施状況 13/13

評価項目1
定められた手順に従ってアセスメント(情報収集、分析および課題設定)を行い、子どもの課題を個別のサービス場面ごとに明示している 評点(〇〇〇)

| 評価 | 標準項目 | |
|---------|--|------|
| ●あり ○なし | 1. 子どもの心身状況や生活状況等を、組織が定めた統一した様式によって記録し把握している | ○非該当 |
| ●あり ○なし | 2. 子どもや保護者のニーズや課題を明示する手続きを定め、記録している | ○非該当 |
| ●あり ○なし | 3. アセスメントの定期的見直しの時期と手順を定めている | ○非該当 |

評価項目2
全体的な計画や子どもの様子を踏まえた指導計画を作成している 評点(〇〇〇〇〇)

| 評価 | 標準項目 | |
|---------|--|------|
| ●あり ○なし | 1. 指導計画は、全体的な計画を踏まえて、養護(生命の保持・情緒の安定)と教育(健康・人間関係・環境・言葉・表現)の各領域を考慮して作成している | ○非該当 |
| ●あり ○なし | 2. 指導計画は、子どもの実態や子どもを取り巻く状況の変化に即して、保育の過程を踏まえて作成、見直しをしている | ○非該当 |
| ●あり ○なし | 3. 個別的な計画が必要な子どもに対し、子どもの状況(年齢・発達の状況など)に応じて、個別的な計画の作成、見直しをしている | ○非該当 |
| ●あり ○なし | 4. 指導計画を保護者にわかりやすく説明している | ○非該当 |
| ●あり ○なし | 5. 指導計画は、見直しの時期・手順等の基準を定め、必要に応じて見直しをしている | ○非該当 |

評価項目3
子どもに関する記録を適切に作成する体制を確立している 評点(〇〇)

| 評価 | 標準項目 | |
|---------|---|------|
| ●あり ○なし | 1. 子ども一人ひとりに関する必要な情報を記載するしくみがある | ○非該当 |
| ●あり ○なし | 2. 指導計画に沿った具体的な保育内容と、その結果子どもの状態がどのように推移したのかについて具体的に記録している | ○非該当 |

評価項目4
子どもの状況等に関する情報を職員間で共有化している 評点(〇〇〇)

| 評価 | 標準項目 | |
|---------|---|------|
| ●あり ○なし | 1. 指導計画の内容や個人の記録を、保育を担当する職員すべてが共有し、活用している | ○非該当 |
| ●あり ○なし | 2. 子どもや保護者の状況に変化があった場合の情報について、職員間で申し送り・引継ぎ等を行っている | ○非該当 |
| ●あり ○なし | 3. 子ども一人ひとりに対する理解を深めるため、事例を持ち寄る等話し合う機会を設けている | ○非該当 |

サブカテゴリ-3の講評

クラスごとの児童票ファイルには、子ども一人ひとりの書類を収め管理しています

クラス別に設けた児童票ファイルには、子ども一人ひとりの記録を収めています。ファイルはカラー別に仕分けし、インデックスで個人ごとの情報を取り出しやすくしています。内容としては入園時に保護者が提出する「児童調査票」をはじめ、年齢別の質問事項に沿い、生活状況や体質、健康面などを項目ごとに記入する「調査票」があります。このほか「食材確認表」「同意書」もあります。また、入園後に定期的に担当が記録する「保育指導記録・評価」も整備し、同ファイルで管理して、個別の情報を職員間で把握しながら日々の保育に生かしています。

全体的な計画に基づき、クラス別に年間や月間などの各種指導案を作成しています

法人策定の「教育及び保育の内容に関する全体的な計画」を踏まえ、各クラスで年間指導計画や月間指導計画案、週間指導計画案をそれぞれ作成しています。月案はクラス全体の計画と、1、2歳児は個別の指導計画を作成し、いずれの指導案も日、週、月、期ごとに振り返りを行い、提供した保育内容や指導に対し、子どもの状態がどのように推移したかを記録して、次の保育に生かしています。支援を必要とする子どもには個別の指導案と日々の様子を記録しています。今後は、全体的な計画に示す年齢別目標と各年案の目標の統一化を図るとより良いでしょう。

職員会議のほかワンフロアの利点を生かし、職員間で日々の情報共有を図っています

月2回の職員会議は月初と月末の午睡時に実施しています。できる限り正規職員が出席できるよう調整しています。内容としては、園長と主任による連絡事項をはじめ、各クラスの月の目標と反省、月の予定、行事の確認などを議題にしています。毎月必ず共有する議題は、それぞれ用紙を作成し担当者が記録して議事録に添付します。このほか必要に応じてリーダー会議や幼児会議などを行います。園内ワンフロアのため情報伝達が届きやすく、職員の連絡ツールを特に設けずとも、クラスノートや朝夕の合同保育日誌などで日々の子どもの情報を共有しています。

| サブカテゴリ-5 | | |
|---|--|----------------------|
| 5 | プライバシーの保護等個人の尊厳の尊重 | サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 5/5 |
| 評価項目1 子どものプライバシー保護を徹底している | | 評点(〇〇) |
| 評価 | 標準項目 | |
| ●あり ○なし | 1. 子どもに関する情報(事項)を外部とやりとりする必要がある場合には、保護者の同意を得るようにしている | ○非該当 |
| ●あり ○なし | 2. 子どもの羞恥心に配慮した保育を行っている | ○非該当 |
| 評価項目2 サービスの実施にあたり、子どもの権利を守り、子どもの意思を尊重している | | 評点(〇〇〇) |
| 評価 | 標準項目 | |
| ●あり ○なし | 1. 日常の保育の中で子ども一人ひとりを尊重している | ○非該当 |
| ●あり ○なし | 2. 子どもと保護者の価値観や生活習慣に配慮した保育を行っている | ○非該当 |
| ●あり ○なし | 3. 虐待防止や育児困難家庭への支援に向けて、職員の勉強会・研修会を実施し理解を深めている | ○非該当 |
| サブカテゴリ-5の講評 | | |
| <p>子どもの情報を外部に提供する際には、その都度保護者に同意を得るようにしています</p> <p>子どもの情報を外部とやり取りする場合には、保護者に同意を確認しています。転園時の申し送りについては、保護者の意思を尊重して対応した事例もあります。園のしおりには個人情報の取り扱いを明示し、「個人情報保護に関する同意書」を整備するとともに、写真や動画の掲載に特化した「ホームページ内写真等の掲載に関する同意書」でも、同意の有無を確認しています。さらに園のしおりには、保護者個人が撮影した映像などをSNSへ投稿する際の注意喚起と、ホームページ内の保護者ページの取り扱いについて、掲載を禁止する旨を記載しています。</p> <p>プール遊びでは男女別に着替えるなど、日ごろからプライバシーの配慮に努めています</p> <p>夏場のプール遊びは通りから離れた園庭の奥のほうで行っています。目隠しにもなる日よけを設置し、高年齢のクラスでは、シャワーや水着に着替える際には男女別で行っています。夏前にはプライベートゾーンについても子どもたちに話をしています。また、園内には1歳児専用のトイレがあるほか、3～5歳児の個室トイレすべてに扉があり、2歳児も使用しています。おもらしをした際には、ほかの子どもに目に触れないよう留意し、子どもの心を傷つけず、気持ちに寄り添った対応を心がけるなど、子どものプライバシーに配慮した保育に努めています。</p> <p>子ども一人ひとりを尊重し、子どもの気持ちに寄り添える保育を大切にしています</p> <p>「保育士としての心得」では、子どもと保護者への適切な関わり方を示すほか、呼び捨ての禁止や精神的・身体的な面における断言の禁止、言動への十分な配慮などを明示しています。NG用語や指導基準も定め、これを基に園全体で子どもの気持ちに寄り添える保育を心がけています。子どもが気持ちをクールダウンできる環境も大切に、例えば園長が子どもの話をじっくりと聞き、落ち着いたところでクラスに戻るケースもあります。一方で昨今虐待の形が多岐にわたっていることを危惧し、職員の応用力や知識を深めることも必要だと園長は認識しています。</p> | | |

| サブカテゴリ-6 | | |
|---|---|----------------------|
| 6 | 事業所業務の標準化 | サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 5/5 |
| 評価項目1 手引書等を整備し、事業所業務の標準化を図るための取り組みをしている | | 評点(〇〇〇) |
| 評価 | 標準項目 | |
| ●あり ○なし | 1. 手引書(基準書、手順書、マニュアル)等で、事業所が提供しているサービスの基本事項や手順等を明確にしている | ○非該当 |
| ●あり ○なし | 2. 提供しているサービスが定められた基本事項や手順等に沿っているかどうか定期的に点検・見直しをしている | ○非該当 |
| ●あり ○なし | 3. 職員は、わからないことが起きた際や業務点検の手段として、日常的に手引書等を活用している | ○非該当 |
| 評価項目2 サービスの向上をめざして、事業所の標準的な業務水準を見直す取り組みをしている | | 評点(〇〇) |
| 評価 | 標準項目 | |
| ●あり ○なし | 1. 提供しているサービスの基本事項や手順等は改変の時期や見直しの基準が定められている | ○非該当 |
| ●あり ○なし | 2. 提供しているサービスの基本事項や手順等の見直しにあたり、職員や保護者等からの意見や提案、子どもの様子を反映するようにしている | ○非該当 |
| サブカテゴリ-6の講評 | | |
| <p>「保育所運営管理マニュアル」を整備し、業務に必要な手引書を多数そろえています</p> <p>業務に必要な手引書は「保育所運営管理マニュアル」として整備し、保育の標準化を図っています。法人共通及び区や都のマニュアル、ガイドラインなど多数のマニュアル類を一冊の厚手のファイルに収めています。職員には閲覧を促していますが、重量感あるファイルであることから、いつでも気軽に活用することは難しく、マニュアルの活用の仕方を今後の課題としています。その観点から、「事故防止」「食物アレルギー」「虐待防止」「不審者・侵入者対応」など、安全管理に関するマニュアルは、それぞれ薄手の別ファイルに収め改善を図っています。</p> <p>必要に応じて随時更新を行いつつ、マニュアル全般の見直しを今後の課題としています</p> <p>区からのマニュアルなどは随時更新していますが、法人共通のマニュアル内には、古いものも散見されます。マニュアル全般の見直しについては園長も課題としつつ、実行しづらいことも現状のようです。虐待の通告に関するフローなどは、職員がいつでも確認できるよう、1階の所定の場所に掲示しています。このように、災害や事故に関する対応手順等を示すわかりやすいフローなどを増やし、園に必要な、重要とするものについては、既存のマニュアルをベースに、簡易でより園の実態に見合う独自のマニュアルの作成と、マニュアル全般の整理が望まれます。</p> <p>子どもの姿や職員の気づきなどから、新たな活動を取り入れ保育の質向上を図っています</p> <p>経験豊富なベテラン職員が多く、マニュアルに頼らずとも聞き合える関係性を大切にしています。その中で子どもに関する個別の配慮事項がある場合には、同じ認識のもとに適切な対応ができるよう掲示物などで示し、共通理解を図っています。また、各会議はもとより園長自ら若手職員などに気づきや意見を個別に聴取し、保育に生かす取り組みも行っています。子どもの姿や園長の提案から新たに取り入れた事例もあり、例えば4、5歳児クラスでは子どもたちが主体となり、いろいろなことを発言し合い、決定する話し合いの機会を設けたこともその一つです。</p> | | |

Ⅲ サービスの実施項目(カテゴリ-6-4)

| | | サブカテゴリ-4 | |
|--|--|------------------|-------|
| サービスの実施項目 | | サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 | 36/36 |
| 1 評価項目1 子ども一人ひとりの発達の状態に応じた保育を行っている | | 評点(〇〇〇〇〇〇) | |
| 評価 | 標準項目 | | |
| ●あり ○なし | 1. 発達の過程や生活環境などにより、子ども一人ひとりの全体的な姿を把握したうえで保育を行っている | | ○非該当 |
| ●あり ○なし | 2. 子どもが主体的に周囲の人・もの・ことに興味や関心を持ち、働きかけることができるよう、環境を工夫している | | ○非該当 |
| ●あり ○なし | 3. 子ども同士が年齢や文化・習慣の違いなどを認め合い、互いを尊重する心が育つよう配慮している | | ○非該当 |
| ●あり ○なし | 4. 特別な配慮が必要な子ども(障害のある子どもを含む)の保育にあたっては、他の子どもとの生活を通して共に成長できるよう援助している | | ○非該当 |
| ●あり ○なし | 5. 発達の過程で生じる子ども同士のトラブル(けんか・かみつき等)に対し、子どもの気持ちを尊重した対応をしている | | ○非該当 |
| ●あり ○なし | 6. 【5歳児の定員を設けている保育所のみ】 小学校教育への円滑な接続に向け、小学校と連携をとって、援助している | | ○非該当 |
| 評価項目1の講評 | | | |
| <p>3～5歳児室は区切って遊ぶなど、目的と活動に応じて部屋の使い方を工夫しています</p> <p>園舎1階は子どもたちが日常を過ごす場です。3～5歳児室はオープンスペースの広々とした保育室です。クラス別の活動の際にはそれぞれをパーティションで区切り、そのほか朝夕の合同保育などではオープンにするなど目的に応じた使い分けをしています。訪問調査当日は3～5歳児合同の工作遊びの日だったことで、朝から3クラス合同で思い思いの遊びを楽しむ子どもたちの姿が確認できます。このほか1階には1、2歳児室、2階はホールと事務室などがあります。いずれの保育室も子どもたちが好きなおもちゃを取り出せるような環境を設定しています。</p> <p>異年齢の子どもなどと共に遊ぶことで、思いやりやいたわる気持ちなどを育てています</p> <p>朝夕の室内遊びや園庭遊びなど、日常的に一つのスペースで一緒に遊ぶ機会も多く、異年齢の子ども同士の自然な関わりが見られます。クラスの子も同士で遊んでいる中、他クラスの子ももその中に入り、入り交じって遊ぶ様子も確認できます。異年齢の子ども同士、文化の異なる子ども、配慮を必要とする子どもも共に生活することで、相手を思いやる気持ちを育てています。また、より主体的な遊びが広がるよう常設したコーナーづくりを進めていきたいとしつつ、今ある限られたスペースと豊富なおもちゃをそろえている中で、工夫を重ねていく考えです。</p> <p>学校訪問での小学生及び他園の年長児との交流を通じ、就学への期待感を育てています</p> <p>子ども同士のトラブルについては年齢に応じた対応を心がけ、子どもの気持ちをくみ取り、互いが納得できるよう話をするなどしています。1、2歳児は少人数での保育や職員の位置などに配慮することで、かみつきなどは減少傾向です。また、地域の小学校との連携を進め、5歳児はプールの授業見学をはじめ、イベントに招待され小学生との交流を行っています。その際には近隣複数園も参加し、年長児同士の交流の機会にもつなげています。年明けにも別の小学校での学校訪問を予定し、このような活動を通して5歳児の就学への期待感を膨らませています。</p> | | | |

| | | | |
|---|---|--|------------|
| 2 評価項目2 子どもの生活が安定するよう、子ども一人ひとりの生活のリズムに配慮した保育を行っている | | | 評点(〇〇〇〇) |
| 評価 | 標準項目 | | |
| ●あり ○なし | 1. 登園時に、家庭での子どもの様子を保護者に確認している | | ○非該当 |
| ●あり ○なし | 2. 発達の状態に応じ、食事・排泄つなどの基本的な生活習慣の大切さを伝え、身につくよう援助している | | ○非該当 |
| ●あり ○なし | 3. 休息(昼寝を含む)の長さや時間帯は子どもの状況に配慮している | | ○非該当 |
| ●あり ○なし | 4. 降園時に、その日の子どもの状況を保護者一人ひとりに直接伝えている | | ○非該当 |
| 評価項目2の講評 | | | |
| <p>登園時は子ども一人ひとりの健康状態などを、保護者に確認するよう努めています</p> <p>受け入れの際には保護者から子どもの体調などを聞き取り、必要に応じて前日のけがや体調不良についても話題にし、その後の家庭での様子を尋ねるようにしています。「保育士としての心得」には登園時の配慮事項を明記し、子どもと保護者に笑顔で挨拶し、職員から歩み寄り、家庭での様子を聞くこと、気持ちよく送り出すことを挙げています。これに基づき職員も実践に努めています。昨年度から3～5歳児にも導入した連絡帳のアプリにより、確実に伝達する利点がある一方で、対面でのやり取りなどがやや希薄傾向であることを継続的な課題としています。</p> <p>子ども一人ひとりの生活リズムを把握し、年齢等に応じて午睡時間を考慮しています</p> <p>家庭との連絡帳において、日々の子どもの生活リズムなどを把握しています。休息は年齢に応じて配慮し、5歳児の午睡については、運動会が終わったころの10月下旬より徐々に時間を短くしています。訪問調査当日も、5歳児は午前につき給食後にも外部講師による工作活動を楽しみ、そのあと午睡に入っています。排泄や着脱などの生活習慣の自立に向けては、子どもの年齢や発達に応じて指導、援助をし、身につくことでその大切さも知らせています。1歳児クラスから少しずつ排泄指導を進め、排尿間隔と子どもの様子を見ながら無理なく進めています。</p> <p>子どもの様子やその日の活動は、アプリ内の連絡帳機能やホームページで掲載しています</p> <p>数年前に導入したアプリは、登降園管理から運用を開始し、その後1、2歳児の連絡帳、そして昨年度からは3～5歳児も活用できるようにし、現在に至っています。対面で伝え合える内容も気軽にアプリ上で送れるようになり、保護者に喜ばれています。また、これまで3～5歳児のクラスの活動の様子は連絡ボードで日々掲示し、降園時に伝えていましたが、現在はホームページ上で日々の様子を掲載する方法に変更しています。このほか、保護者は保育室に入らない形を取り、登降園時は園庭に面した各保育室のテラスで受け入れと引き渡しを行っています。</p> | | | |
| 3 評価項目3 日常の保育を通して、子どもの生活や遊びが豊かに展開されるよう工夫している | | | 評点(〇〇〇〇〇〇) |
| 評価 | 標準項目 | | |
| ●あり ○なし | 1. 子どもの自主性、自発性を尊重し、遊びこめる時間と空間の配慮をしている | | ○非該当 |
| ●あり ○なし | 2. 子どもが、集団活動に主体的に関われるよう援助している | | ○非該当 |
| ●あり ○なし | 3. 子ども一人ひとりの状況に応じて、子どもが言葉(発声や喃語を含む)や表情、身振り等による応答的なやり取りを楽しみ、言葉に対する感覚を養えるよう配慮している | | ○非該当 |
| ●あり ○なし | 4. 子どもが様々な表現を楽しめるようにしている | | ○非該当 |
| ●あり ○なし | 5. 戸外・園外活動には、季節の移り変わりなどを感じとることができるような視点を取り入れている | | ○非該当 |
| ●あり ○なし | 6. 生活や遊びを通して、子どもがきまりの大切さに気付き、自分の気持ちを調整する力を育てられるよう、配慮している | | ○非該当 |
| 評価項目3の講評 | | | |
| <p>「健康な心と体づくり」を目指し、外部講師によるさまざまな活動を提供しています</p> <p>系列園同様の保育目標に基づき、園では健康な心と体づくりを大切にしています。外遊びを多く取り入れながら、外部講師によるさまざまな活動も提供しています。月2回の体育指導は3～5歳児を対象に、カリキュラムに沿ってクラス別に行います。マットや跳び箱、鉄棒、長・短縄などを用いて体の使い方や運動機能を高めています。このほか5歳児は、習字指導、絵画指導をそれぞれ月2回行い、習字では緊張感の中、子どもたちは真剣な表情で取り組み、絵画では毎回絵の具を使い、色の変化やさまざまな絵画手法を知らせ、描くことの楽しさを学んでいます。</p> <p>作って遊べる工作活動を楽しむ日を設け、3～5歳児が一緒に取り組んでいます</p> <p>毎月計画的に実施する外部講師による保育活動のほか、年に数回、同様に外部から講師を招き、工作遊びを楽しむ日を設けています。3～5歳児が一緒に取り組み、遊園地がテーマである今年度4回目の11月は、メリーゴーランドを製作しています。紙バックと新聞紙、トイレットペーパーの芯などで木馬を作り、完成後は自分の作品にまたがり、音楽に合わせて園庭を回るなど遊園地気分を楽しんでいます。絵画指導や工作遊びのほかクラスごとに行う製作活動もあり、保育室には芋掘りや園外保育の様子を表現した4、5歳児の経験画の作品を展示しています。</p> <p>4、5歳児は子どもたちが話し合いで物事を決める「クラス会議」を新たに設けています</p> <p>園庭遊びをはじめ、園外にも積極的に出かけ、外遊びを通して季節の移り変わりを感じ取れるようにしています。また、当番活動の一環としてみんなの前で話す経験を重ねる中、4、5歳児は、より子どもたちが主体的に活動できるよう、思ったことを自由に発言し、自分たちで物事を決めるクラス会議を設けています。遊び方のルールのほか、5歳児は行事「おたけ屋敷」の内容もみんな決めていきます。固定の活動や行事も多くある中で、日常の遊びにおいても子どもたちの意見を取り上げ、より子どもと一緒に作り上げる保育を今後も目指していく考えです。</p> | | | |

| 4 評価項目4 日常の保育に変化と潤いを持たせるよう、行事等を実施している | | 評点(〇〇〇) |
|---|---|---------|
| 評価 | 標準項目 | |
| ●あり ○なし | 1. 行事等の実施にあたり、子どもが興味や関心を持ち、自ら進んで取り組めるよう工夫している | ○非該当 |
| ●あり ○なし | 2. みんなで協力し、やり遂げることの喜びを味わえるような行事等を実施している | ○非該当 |
| ●あり ○なし | 3. 子どもが意欲的に行事等に取り組めるよう、行事等の準備・実施にあたり、保護者の理解や協力を得るための工夫をしている | ○非該当 |
| 評価項目4の講評 | | |
| <p>みんなで作り上げる行事を通して、子どもたちの達成感や自信へとつなげています</p> <p>行事は無理なく楽しむこと、当日だけでなくそこに向かう取り組みなど、その過程も大切にしています。子どもたちみんなで話し合って決め、製作にも関わり、共に作り上げることで期待感と達成感、次への自信につながる行事を実施しています。保護者が参加する行事には、10月の運動会や12月の発表会があります。このほか5歳児の保護者は、7月の「お化け屋敷」も参観できます。コロナ禍前は系列園3園の合同運動会を開催していましたが、以降は園ごとで行っています。それぞれの良さがある中で、自園でのゆったりとした運動会も楽しんでいます。</p> <p>保護者参加の運動会や発表会は、子どもたちも練習を重ね張り切って当日に臨みます</p> <p>運動会は日曜日に開催し、小学校の校庭を借りて行っています。3～5歳児を対象に、かけっこや遊戯、親子競技、これに加えて4、5歳児は玉入れやリレーなどもそれぞれ行っています。昨年度の保護者の感想や反省を踏まえ、今年度は各家庭の人数を広げ、保護者競技を増やしています。一方、発表会は2日間にわたり平日に行い、1、2歳児は合同、3～5歳児は一クラスずつ分散型にして今年度も開催する予定です。発表会も昨年度の振り返りから4日間の開催を2日に狭め、時間をずらし、入れ替え制で劇遊びや遊戯などの表現遊びを保護者に披露します。</p> <p>お店屋さんごっこの開催時期を変更するなど、より良い行事となるよう模索しています</p> <p>園外保育や芋掘り、餅つき、凧あげ、豆まきなどの季節行事もあります。8月の縁日ごっこは、ヨーヨー釣りやバッチ釣り、千本引き、職員手作りのカプセルトイのブースなどが並び、縁日の雰囲気味わっています。これまで2月に行っていたお店屋さんごっこは、卒園式を控えた5歳児の負担感、その時期だからこそゆったりと過ごす必要性などを加味し、11月への変更と保護者の参加も今年度は見合わせています。全クラス4、5品ほどの商品を作り、クッションやメガネ、ピザなど各クラスの商品紹介のカタログを行事後も掲示し、余韻を楽しんでいます。</p> | | |
| 5 評価項目5 保育時間の長い子どもが落ち着いて過ごせるような配慮をしている | | 評点(〇〇) |
| 評価 | 標準項目 | |
| ●あり ○なし | 1. 保育時間の長い子どもが安心し、くつろげる環境になるよう配慮をしている | ○非該当 |
| ●あり ○なし | 2. 保育時間が長くなる中で、保育形態の変化がある場合でも、子どもが楽しく過ごせるよう配慮をしている | ○非該当 |
| 評価項目5の講評 | | |
| <p>保育時間の長い子どもたちが、落ち着いて過ごせる環境づくりを心掛けています</p> <p>当園の開園時間は、早朝保育が7時15分から、延長保育が19時15分までです。朝は開園から数名の子どもたちが登園し、8時ごろよりその人数も増えてきます。4歳児室での合同保育から1、2歳児は自室のほうへ移り、3～5歳児はオープンフロアで思い思いの遊びを楽しみます。夕方は園庭で遊んだのち、16時半ごろから室内遊びとなり、延長保育となる18時過ぎより5歳児室での合同保育となります。子どもたちの人数が減少していくことで、長時間保育の子どもたちの寂しさを軽減し、落ち着いて過ごせるよう安心できる保育を心がけています。</p> <p>家庭的な雰囲気の中、安全に留意し好きな遊びを楽しめるよう配慮しています</p> <p>夕方の時間帯は保育補助の非常勤職員を複数名配置し、大人の目が行き届くよう安全面に考慮しています。ゆったりとくつろげる雰囲気の中、祖母と触れ合っているような年代の職員もいることで、子どもたちに安心感を与えるとともに、保護者からも喜ばれています。今後も子どもの人数が増える傾向にあり、合同保育のあり方や職員体制、個々のより良い過ごし方などに園長は課題意識を持っています。その中で延長保育前後の時間帯は、一つ上のクラスのパズルで遊ぶなど、子ども一人ひとりが好きな遊びを十分に楽しめるよう環境設定を工夫しています。</p> | | |

| 6 評価項目6 子どもが楽しく安心して食べることができる食事を提供している | | 評点(00000) |
|--|--|-----------|
| 評価 | 標準項目 | |
| ●あり ○なし | 1. 子どもが楽しく、落ち着いて食事をとれるような雰囲気作りに配慮している | ○非該当 |
| ●あり ○なし | 2. メニューや味付けなどに工夫を凝らしている | ○非該当 |
| ●あり ○なし | 3. 子どもの体調(食物アレルギーを含む)や文化の違いに応じた食事を提供している | ○非該当 |
| ●あり ○なし | 4. 食についての関心を深めるための取り組み(食材の栽培や子どもの調理活動等)を行っている | ○非該当 |
| ●あり ○なし | 5. 保護者や地域の多様な関係者との連携及び協働のもとで、食に関する取り組みを行っている | ○非該当 |
| 評価項目6の講評 | | |
| <p>委託業者と連携を図りながら、栄養バランスの取れた食事を提供しています</p> <p>子ども一人ひとりの喫食量や偏食、食事の摂り方などを把握し、子どもが無理なく食べられるよう心がけています。また、給食職員の体制上などから、昨年度末より業者委託による給食を提供し、現在も委託先が作成した献立を基に園内で調理しています。委託にあたっては献立内容について業者との話し合いを重ね、彩りや味つけなどを工夫し、子どもたちも喜んで食べています。献立は2週のサイクルメニューを採用し、ごはんを提供する日を多めに取り、旬の食材や栄養バランスに考慮して作成しています。なお、延長保育の補食などは職員が用意しています。</p> <p>食物アレルギーや文化の違いによる対応食の提供については、細心の注意を払っています</p> <p>食物アレルギーの対応食については誤配や誤食のないよう、調理段階から配食、喫食、その後に至るまで、細心の注意を払い提供しています。給食で提供しない食材がアレルゲンの場合もありますが、そのような際にもトレイを変えるなどし、万が一に備え十分な対応に努めています。文化の違いによる対応食については、できる限りの給食提供を行う中、場合によっては家庭からの昼食を持参してもらうなど、協力を依頼することもあります。そのほか、食事が摂れることが登園の目安としつつ、体調に応じて量を減らしながら様子を見守るよう配慮しています。</p> <p>給食業者の栄養士が中心となり食育活動を行い、多様な食材に触れる機会を設けています</p> <p>園に配属する給食業者の栄養士と共に、子どもたちの食育活動を進めています。3～5歳児を中心に年齢に応じた活動を行い、毎月計画的に食材に触れる機会を作っています。今年度は4月の春キャベツをはじめ、にんじん、小麦、トマト、ピーマンなどの食材を提供したほか、栽培活動ではなすやパプリカ、トマトなどを育てています。10月には4、5歳児が、大豆からの豆乳作りと豆乳からの豆腐作りにも挑戦しています。さらに芋掘りのさつま芋を使ったクッキングは、1、2歳児も参加しています。5歳児は箸の持ち方、使い方なども改めて学んでいます。</p> | | |
| 7 評価項目7 子どもが心身の健康を維持できるよう援助している | | 評点(000) |
| 評価 | 標準項目 | |
| ●あり ○なし | 1. 子どもが自分の健康や安全に関心を持ち、病気やけがを予防・防止できるように援助している | ○非該当 |
| ●あり ○なし | 2. 医療的なケアが必要な子どもに、専門機関等との連携に基づく対応をしている | ○非該当 |
| ●あり ○なし | 3. 保護者と連携をとって、子ども一人ひとりの健康維持に向けた取り組み(乳幼児突然死症候群の予防を含む)を行っている | ○非該当 |
| 評価項目7の講評 | | |
| <p>職員一人ひとりが、日ごろから子どもたちの健康と安全に留意して保育を行っています</p> <p>日ごろから職員一人ひとりが子どもたちの健康や安全を守り、保健リーダーの職員が中心となり指導及び援助を行っています。園の保健計画に基づき進め、手洗いの方法やトイレの使い方などは、担任がその都度子どもたちに伝え、園内外の安全な遊び方や散歩時には交通ルールについても知らせています。保健指導としては、3～5歳児合同でプライベートゾーンの話をし、絵本を使い各年齢にわかりやすい方法で行ったほか、鼻のかみ方、区の歯磨き指導などもすでに終え、安全指導としては消防による煙体験と警察による不審者講話を年度内に予定しています。</p> <p>個別に配慮が必要な場合には、緊急時に備えた対応方法などを職員間で共有しています</p> <p>健康面で配慮が必要な子どもが入園した際には、緊急時に備え、対応方法を園全体で確認し合うとともに、保護者と連携を取りながら十分に留意していく考えです。また、子どもたちの健康と安全を守る職員も、レクチャーなどで学びを深めています。6月の不審者訓練は、警察の協力のもと午睡時にホールで行い、その模様はホームページのブログで伝え、保護者の安心感にもつなげています。消防による通報訓練とAED訓練、消火訓練も計画的に実施しています。今後は、けがの応急処置、嘔吐処理の方法も職員間で定期的に確認し合うことが大切でしょう。</p> <p>保健関連の情報を入手し、保護者と連携を図り子どもたちの健康維持に努めています</p> <p>保健に関する情報は、園長会での話題や保健所からの通達などにより、地域の感染症等の流行状況などを収集し、保育に生かしています。保護者へは園のしおりにおいて伝え、朝の健康チェックや欠席の目安、感染症罹患後の登園基準などを示し、理解と協力を求めています。保健便りにおいても前月の感染症の状況やその時々に応じたタイムリーな話題を取り上げ、注意喚起を行っています。今後に向けてはヒヤリハットの件数を上げるとともに、軽微なけがについては毎月の集計と回覧にとどまらず、より防止策に向けた分析なども行えると良いでしょう。</p> | | |

| 8 評価項目8 保護者が安心して子育てをすることができるよう支援を行っている | | 評点(00000) |
|---|--|-----------|
| 評価 | 標準項目 | |
| ●あり ○なし | 1. 保護者には、子育てや就労等の個々の事情に配慮して支援を行っている | ○非該当 |
| ●あり ○なし | 2. 保護者同士が交流できる機会を設けている | ○非該当 |
| ●あり ○なし | 3. 保護者と職員の信頼関係が深まるような取り組みをしている | ○非該当 |
| ●あり ○なし | 4. 子どもの発達や育児などについて、保護者との共通認識を得る取り組みを行っている | ○非該当 |
| ●あり ○なし | 5. 保護者の養育力向上のため、園の保育の活動への参加を促している | ○非該当 |
| 評価項目8の講評 | | |
| <p>保護者との対話を心がけ、子どもの様子を伝えることで信頼関係の構築に努めています</p> <p>昨今では子育てに不安を持つ保護者や、さまざまな事情を抱えた家庭も少なくない状況です。万一そのような状況を確認した際には、保護者の不安感に寄り添い、傾聴しながら適切な対応に努め、場合によっては専門機関と連携を図り、解決に向けて進めます。また、日ごろから保護者とのコミュニケーションを大切にし、信頼関係の構築に努めています。2階で業務を行うことが多い園長も、できる限り保護者と話す機会を作るほか、主任は常時1階にいて担任とは別の角度から見た子どもの様子を伝えるなど、より良い関係が築けるよう心がけています。</p> <p>保護者同士の交流を支援するほか、懇談会では子育てにつながる情報も提供しています</p> <p>保護者同士が交流できる機会としては、行事をはじめ懇談会、保育参観などがあります。懇談会は年2回開催し、5月の懇談会では各クラスの年間目標や年齢に応じた発達の特徴、園からのお願い事項などを伝えていきます。2歳児クラスはトイレトレーニングや靴の選び方なども話題にし、5歳児は「10の姿」に触れています。どのクラスも園からの伝達にとどまらず、保護者が発言できるよう進め方を工夫しています。そのほか保育参観では普段の保育の様子を見てもらい機会とし、体操教室の様子、5歳児の習字・絵画の各教室での活動も公開しています。</p> <p>日々のブログや保育参観などで活動の様子を伝え、保育内容の透明性を高めています</p> <p>毎月発行する園便りには、園の保育目標はもとより月の目標とその月の子育て標語も紹介しています。全クラスが子どもの様子を紹介することで、他クラスの情報を知ることできます。また、随時行っている個別面談では、期間を設け、希望日を保護者に募り実施するクラスもあります。日々の活動の様子はホームページのブログへと変更したことで、これまでの連絡ボードとは異なり、過去の様子も見返すことができ、保護者に喜ばれています。一方、クラスにより更新頻度が異なるとの保護者の意見もあり、園では検討課題と認識し、改善を図る考えです。</p> | | |
| 9 評価項目9 地域との連携のもとに子どもの生活の幅を広げるための取り組みを行っている | | 評点(00) |
| 評価 | 標準項目 | |
| ●あり ○なし | 1. 地域資源を活用し、子どもが多様な体験や交流ができるような機会を確保している | ○非該当 |
| ●あり ○なし | 2. 園の行事に地域の方の参加を呼び掛けたり、地域の行事に参加する等、子どもが職員以外の人と交流できる機会を確保している | ○非該当 |
| 評価項目9の講評 | | |
| <p>地域にある資源をさまざまな形で活用し、日ごろの保育活動に役立てています</p> <p>園周辺には公園なども多く、気候の良い時期は積極的に散歩に出かけています。園外保育として少し距離のある公園などへ行くこともあります。また、近隣の商店へは栽培の苗を買いに出かけ、買い物体験も行っています。すいか割りで使用するすいかも子どもたちが買いに行く予定でしたが、猛暑の中、戸外に出ることが難しく残念ながら断念しています。さらに、卒園児の保護者の介入などにより高齢者施設との連携が進み、昨年度から4、5歳児が訪問して世代間交流を行っています。今年度は7月に訪問して歌をプレゼントし、利用者の歓迎を受けています。</p> <p>さまざまな人々と交流できる機会を活動に取り入れ、経験の拡大につなげています</p> <p>コロナ禍前は系列園3園合同の運動会を開催し、園以外の子どもたちと触れ合える機会としていました。このほか芋掘りも一緒に行き、当園の「お化け屋敷」にも招待するなどしていましたが、現在は見送りを続けています。小学校訪問での小学生との交流をはじめ保育士養成校の実習生、職場体験やボランティア体験で来園する小・中・高校生との交流などは再開し、お兄さんお姉さんと遊べることを子どもたちは楽しみにしています。また、消防車を見に行く機会、防火や防犯訓練で来園する消防職員と警察署員との交流も子どもたちの経験の幅を広げています。</p> | | |

調査対象

保育園を利用している58世帯を対象に調査を実施しました。在園児は64名で、兄弟姉妹が同園に通う世帯は年齢が一番低い子どもについて回答してもらいました。

調査方法

アンケート調査は無記名方式で、配付は施設を通じて利用者へ手渡し、回収は利用者から直接評価機関へ郵送する方法により実施しました。調査結果は選択回答だけでなく、記述式の回答についても匿名性に配慮してまとめ、施設に報告しました。

利用者総数

64

利用者家族総数(世帯)

58

共通評価項目による調査対象者数

58

共通評価項目による調査の有効回答者数

43

利用者家族総数に対する回答者割合(%)

74.1

利用者調査全体のコメント

保育園に対する総合的な感想は、「大変満足」が22人(51.2%)、「満足」が18人(41.9%)で「満足」以上の回答は合計40人(93%)でした。

自由意見には、「子どもが子どもらしく、自由にのびのびと過ごせます」「先生たちが親身でアットホームです」「部屋が開放的で、いろいろな年齢の子どもたちとも交流ができます」「職員が担当クラス以外の園児の事も、よく把握されているので安心です」「職員の定着率が良いです」「絵画、習字、体操教室などのカリキュラムがあります」「園庭があるので、十分に外遊びができています」「行事も多く、先生方主導で親の負担もなく、ありがたいです」「ベテランの職員が多いので、安心して預けられます」など園への信頼と感謝を寄せる声が多く見られました。

項目別に見ますと、「保育所での活動は、子どもの心身の発達に役立っているか」で95.3%、「保育所での活動は、子どもが興味や関心を持って行えるようになっているか」「保育所の生活で身近な自然や社会と十分関わっているか」「安全対策が十分取られていると思うか」で93.0%の保護者がそれぞれ「はい」と回答し、とても満足度が高い様子が読み取れます。

利用者調査結果

| 共通評価項目 | 実数 | | | |
|---|----|---------------|-----|------------|
| | はい | どちらとも いえない | いいえ | 無回答 非該当 |
| コメント | | | | |
| 1. 保育所での活動は、子どもの心身の発達に役立っているか | 41 | 2 | 0 | 0 |
| 「はい」が95.3%、「どちらともいえない」が4.7%でした。 自由意見には、「保育園に入園してからの子どもの成長が著しく、家庭保育ではできない体験をたくさんさせてくれます」「小さい年齢のクラスでも、身のまわりのことを自分でできるようにしてくれます」「年齢が違う園児とも仲良くさせていただき、子どもがすくすくと成長できているのは、園のおかげだと思っています」「言葉の発達や心の成長を日々感じることができます」「しつけがしっかりしていて、良い意味で厳しいです」などの声がありました。 | | | | |
| 2. 保育所での活動は、子どもが興味や関心を持って行えるようになっているか | 40 | 3 | 0 | 0 |
| 「はい」が93.0%、「どちらともいえない」が7.0%でした。 自由意見には、「ままごとなどの新しいあそびを覚えてきたり、歌ったりと、興味津々で過ごしていると思います」「季節を感じられる行事があったり、製作も保育士が介入しすぎず、自由にやっていたりします」「いろいろ工夫をしてくださっていて、子どもは楽しい時間を過ごしているようで、感謝しかありません」「運動会、発表会、縁日ごっこなど、行事がたくさんあります」「子どもが楽しいと思えるイベントがあります」などの声がありました。 | | | | |
| 3. 提供される食事は、子どもの状況に配慮されているか | 39 | 4 | 0 | 0 |
| 「はい」が90.7%、「どちらともいえない」が9.3%でした。 自由意見には、「些細にわたり、気遣いをされていると思います」「野菜がたくさん使われ、彩りよく、栄養バランスが考えられています」「食事はよく考えられていると思います」「食育がしっかりしていて、野菜、みそ汁が飲めるようになりました」などの声がありました。 | | | | |

| | | | | |
|--|----|---|---|---|
| 4. 保育所の生活で身近な自然や社会と十分関わっているか | 40 | 3 | 0 | 0 |
| <p>「はい」が93.0%、「どちらともいえない」が7.0%でした。 自由意見には、「都会の保育園ではありますが、園庭で野菜を育てたり、虫の観察をしたり、最大限機会は作ってくれていると思います」「園庭に菜園があったり、カブトムシなどを園で飼育し、触れる機会があります」「上のクラスのブログを見ると、とても思います」「園内に小さな畑があり、野菜を育てているので、生長過程を毎日子どもが見ています」「体操、工作、絵画、習字と外部講師の方との連携もあります」などの声がありました。</p> | | | | |
| 5. 保育時間の変更は、保護者の状況に柔軟に対応されているか | 34 | 3 | 1 | 5 |
| <p>「はい」が79.1%、「どちらともいえない」が7.0%、「いいえ」が2.3%、「無回答・非該当」が11.6%でした。 自由意見には、「以前より柔軟になったと思います」「保護者の都合や仕事時のお迎えなど、さまざまな柔軟な対応に大変感謝しております」「案内がないので、変更して良いのかどうかわかりません」「該当ありません」などの声がありました。</p> | | | | |
| 6. 安全対策が十分取られていると思うか | 40 | 1 | 0 | 2 |
| <p>「はい」が93.0%、「どちらともいえない」が2.3%、「無回答・非該当」が4.7%でした。 自由意見には、「園内を見ることができないため、確かめることができません」などの声がありました。</p> | | | | |
| 7. 行事日程の設定は、保護者の状況に対する配慮は十分か | 34 | 8 | 1 | 0 |
| <p>「はい」が79.1%、「どちらともいえない」が18.6%、「いいえ」が2.3%でした。 自由意見には、「行事日程がわかりやすいので、予定が組みやすくて助かります」などの声がありました。 その一方で、「月末、月初にあると、少し厳しいです」という意見もありました。</p> | | | | |
| 8. 子どもの保育について家庭と保育所に信頼関係があるか | 32 | 8 | 2 | 1 |
| <p>「はい」が74.4%、「どちらともいえない」が18.6%、「いいえ」が4.7%、「無回答・非該当」が2.3%でした。 自由意見には、「家庭での悩み事を連絡帳に記載するとアドバイスをくださり、頼りになります」「先生方には本当によくしていただき、子どもの成長を一緒に見守ってくださり、とても心強いです」「雑談もしてもらえるので、気軽に相談ができ信頼できます」「職員の方々が長年おられるようで、信頼関係もしっかりしていると拝察します」などの声がありました。 その一方で、「先生によります」という意見もありました。</p> | | | | |
| 9. 施設内の清掃、整理整頓は行き届いているか | 38 | 4 | 0 | 1 |
| <p>「はい」が88.4%、「どちらともいえない」が9.3%、「無回答・非該当」が2.3%でした。 自由意見には、「限られた空間の中、工夫をされていると思います」などの声がありました。</p> | | | | |
| 10. 職員の接遇・態度は適切か | 34 | 8 | 1 | 0 |
| <p>「はい」が79.1%、「どちらともいえない」が18.6%、「いいえ」が2.3%でした。 自由意見には、「子どもにも親にも、とても丁寧に対応をしてくださるので、ありがたいです」「毎朝温かく迎えてくださり、先生方の対応がとても丁寧で安心しています」「先生たち皆さん、とても元気がよく明るいので安心します」「子どもの発達に応じ、さまざまな事に熱心に相談に乗ってくれます」「職員に相談しやすいです」「安定感のある先生が多いです」などの声がありました。 その一方で、「先生によります」という意見もありました。</p> | | | | |

| | | | | |
|--|----|----|---|---|
| 11. 病気やけがをした際の職員の対応は信頼できるか | 39 | 3 | 0 | 1 |
| 「はい」が90.7%、「どちらともいえない」が7.0%、「無回答・非該当」が2.3%でした。 自由意見には、「変化には機敏に対応をしています」などの声がありました。 | | | | |
| 12. 子ども同士のトラブルに関する対応は信頼できるか | 27 | 11 | 0 | 5 |
| 「はい」が62.8%、「どちらともいえない」が25.6%、「無回答・非該当」が11.6%でした。 自由意見には、「経験がないため、わかりません」「様子が見えないので、トラブルがあるのかもわかりません」などの意見がありました。 | | | | |
| 13. 子どもの気持ちを尊重した対応がされているか | 36 | 6 | 0 | 1 |
| 「はい」が83.7%、「どちらともいえない」が14.0%、「無回答・非該当」が2.3%でした。 自由意見には、「対応してくれていると信じています」「一人ひとりの子どもの様子を見ながら、適切に対応してくださっています」などの声がありました。 | | | | |
| 14. 子どもと保護者のプライバシーは守られているか | 34 | 5 | 0 | 4 |
| 「はい」が79.1%、「どちらともいえない」が11.6%、「無回答・非該当」が9.3%でした。 自由意見には、「守ってくれていると信じています」などの声がありました。 | | | | |
| 15. 保育内容に関する職員の説明はわかりやすいか | 37 | 5 | 1 | 0 |
| 「はい」が86.0%、「どちらともいえない」が11.6%、「いいえ」が2.3%でした。 自由意見には、「日々の様子をブログにアップしてくださるので、わかりやすいです」「保育の様子は連絡帳で、活動の様子はブログでお知らせしてくださっています」などの声がありました。 | | | | |
| 16. 利用者の不満や要望は対応されているか | 29 | 7 | 1 | 6 |
| 「はい」が67.4%、「どちらともいえない」が16.3%、「いいえ」が2.3%、「無回答・非該当」が14.0%でした。 自由意見には、「困った事がある時に、きちんと対応してくれます」「そのような経験がありません」などの声がありました。 | | | | |
| 17. 外部の苦情窓口（行政や第三者委員等）にも相談できることを伝えられているか | 28 | 9 | 2 | 4 |
| 「はい」が65.1%、「どちらともいえない」が20.9%、「いいえ」が4.7%、「無回答・非該当」が9.3%でした。 自由意見には、「認識はありませんでした」などの意見がありました。 | | | | |

株式会社 学研データサービス
(福祉サービス第三者評価機関)

〒141-0031 東京都品川区西五反田2-11-8
TEL03-5436-8191 FAX03-5487-8810

●評価機関認証

東京都福祉サービス第三者評価機関認証
埼玉県福祉サービス第三者評価機関認証
千葉県福祉サービス第三者評価機関認証
神奈川県福祉サービス第三者評価機関認証
社会的養護関係施設第三者評価機関認証